

JMSJの電子化

2005年9月21日
出版委員会ワークショップ
戸瀬信之

日本数学会の刊行物

- * Journal of Mathematical Society of Japan
- * Japanese Journal of Mathematics
- * Advanced Study of Pure Mathematics
- * Memoir
- * 数学
- * 数学通信

JMSJの電子化の概要

* プラットホーム

- 1) Sparc Japan を通して Euclid Project
- 2) J-Stage

日本の電子ジャーナル

- * **Euclid**

学士院紀要、東北大学、東京工業大学、名古屋大学

- * **J-Stage**

九州大学、函数方程式分科会

- * **独自サーバー**

北海道大学、岡山大学、広島大学、東京理科大学

選択理由

- * 日本の数学文献の電子化のための情報提供、技術支援のために最も適切な組み合わせ
- * 独自サーバーの維持は当面、困難と判断

J-Stage

- * JSTのアーカイブ事業により過去のも
のを電子化して、J-Stageに載せる
- * このデータをさらにEuclidに載せる

Sparc/Euclid

- * カレントの号は、Sparc Japan を通して、Euclid に載せる
- * これを、さらにJ-Stageに掲載する

読者

- * 会員、購入機関、交換機関
- * これらのカテゴリー別に、2つのプラットフォームを当てはめる
- * ある年数を経たものは無料公開する
(理事会、出版委員会、編集委員会で議論が始まった段階)

著作権の問題

- * 「日本数学会 著作権に対する考え方」
(2005年9月19日評議員会決定)
- * 近く「会告」(ホームページ上、「数学通信」、**JMSJ**上)と「書簡」によって既刊分の掲載の了承を求める手続きを開始する

技術的な問題

- * 出版委員会専門部会が発足
- * 京都大学数理解析研究所のサポートのもとで研究会
(2005年3月、7月)

出版委員会

ワークショップ

「日本の数学文献の電子化について」

- *日時 9月21日18:00から20:00
- *場所 岡山大学理学部本館2階21番教室

- * 藤田隆夫 あいさつ
- * 18:00-18:20 戸瀬信之 JMSJの電子化について
- * 18:20-18:40 麻生和彦

- World Digital Mathematical Libraryについて
- * 18:50-19:10 行木孝夫

- ポータルサイト構築の試験実装
- * 19:10-19:30 鈴木昌和 電子化の技術について
- * 19:30-20:00 討論